

会議録

会議の名称	令和4年度 第5回東大和市廃棄物減量等推進審議会				
開催日時	令和5年2月8日(水) 午後1時30分～午後2時00分				
開催場所	中央公民館視聴覚室				
出席者及び欠席者	<p>●出席者(敬称略)</p> <p>(委員) 田村茂(会長)、内野美樹子(副会長)、岸和雄、町田道子、大羽敬子、吉浦高志、足立浩志、岩崎和夫、小樽敏雄、茂本勉、西島昭次(代理:米澤照江)</p> <p>(事務局) 田村美砂(市民環境部長)、梶川義夫(環境対策課長)、岩上崇(ごみ減量係長)、岸(ごみ減量係)</p> <p>●欠席者(敬称略)</p> <p>陣野原佐江子</p>				
傍聴の可否	可	傍聴不可の場合はその理由		傍聴者数	0名
会議次第	1.【審議】東大和市一般廃棄物処理基本計画(ごみゼロプラン)の改定について				

会議経過

【会長】

皆さん、こんにちは。ただ今から、令和4年度第5回東大和市廃棄物減量等推進審議会を始めます。本日は、陣野原委員は都合により欠席との連絡が入っております。また、イトーヨーカ堂の米澤委員の代理として、西島様にご出席いただいております。よろしくお願いいたします。

【委員】

よろしくお願いいたします。

【会長】

冒頭のプランにつきましては、昨年の6月から皆様にご審議いただいておりますが、本日で5回目となり最後になります。よろしくお願いいたします。 それでは、次第の1「東大和市一般廃棄物処理基本計画の改定について」に入らせていただきます。事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

はい。環境対策課の岩上です。よろしくお願いいたします。

初めに資料の確認をさせていただきます。次第と計画の素案の2部になりますが、不足のある方はいらっしゃいませんか。それでは、次第の1「東大和市一般廃棄物処理基本計画(ごみゼロプラン)の改定について」、課長の梶川からお話をさせていただきます。

【事務局】

環境対策課長の梶川でございます。

本日は、一般廃棄物の処理基本計画改定の最終段階ということで、これまで1年程かけまして、皆様から非常に多くのご意見を賜り、誠にありがとうございます。

今回の改定に当たりましては、皆様のご意見を踏まえ、出来ることは反映させていただいていると考えています。

市でも、重点施策ということで、一般廃棄物処理基本計画に、食品ロスの削減や拡大生産者責任等を記載し、また、ごみの量の目標値等も定めることができました。

また一方で、現在、小平・村山・大和衛生組合では、新たなごみの焼却施設を建て替えております。建て替え期間中は、組織市から発生する可燃ごみの一部を、多摩地域の他のごみ焼却施設で処理していただいているという状況もあるので、今後も、更なるごみの減量を図るため、今回、記載させていただきました重点施策や、他の施策についても、気を緩めることなく推進してまいりたいと考えております。また、今後、皆様のご理解とご協力をお願いいたしまして、1年間のお礼とさせていただきますと思います。どうもありがとうございました。

【会長】

何かご質問等がございましたらお願いします。

【委員】

去年も少し食品ロスの関係で申し上げたのですが、スーパー等で刺身に添えている大根がありますが、ほとんど食べられずに廃棄されているように思います。あの大根を何か他の物に変えると食品ロスにつながるのかどうかお尋ねしたいのですが。

【委員】

商品ですから、見栄えという部分も避けて通れない部分はあります。生ものですので、血合いを吸収するという意味合いはあると思うのですが、食べないのであればいわゆる吸収シートのようなものでも構わないです。しかし、それにすると食品ロスは防げるが、ごみが増えてしまうイメージにはなりませんね。

【事務局】

大変貴重なご意見ありがとうございます。

今回、この計画の中では、今、委員からご提案のあったような細かいところまでは記載していませんが、食品ロスの削減として、今後商品として売れ残りそうなものについては、なるべくそれを欲しい人と、上手くマッチングできるような仕組みを、市で用意させていただき、それを広く皆様にお使いいただくということを、まず次の5年間の中で取りかかろうと考えております。

また、お刺身のつまについては、個人の嗜好もございますし、すぐにそれが全て廃棄物というか、何かに変えるべきというのは、その生産者のお考えもあると思いますので、また私どもでも、もう少し研究するお時間をいただかないと何とも言えないところと考えております。

【委員】

当初、お茶殻を食品ロスから減らそうということで取り組んでいましたよね。お茶殻を肥料か何かに転用することはできないのでしょうか。

【事務局】

ありがとうございます。現在、市では生ごみ堆肥化処理容器、コンポスターを市民の皆様へ貸し出したり、購入の補助をさせていただいたりしております。また、一部ご家庭から出た生ごみをお預かりして、堆肥化したりしております。その中に、お茶殻も入っております。正確なことは申し上げられませんが、お茶殻なども堆肥化の対象として、その処理容器の中で処理していることは間違いあり

ません。また、例えばそれがコンポスターを使用する中で支障があるとか、別の堆肥化が好ましいという情報が分かれば、市民の皆様にもお知らせをさせていただきたいと思えます。

【会長】

よろしいでしょうか。

【委員】

はい。

【委員】

今の事務局からの説明も受けまして、この内容についての答申ですとか、今後の取りまとめ、市長へのご報告については、田村会長に一任したいと考えておりますが、皆様いかがでしょうか。

【会長】

岩崎委員からご提案がございましたが、いかがでしょうか。

(異議なし)

【委員】

会長、よろしく願いいたします。

【会長】

はい。ありがとうございます。会長一任ということで承りましたので、この後、事務局と調整をさせていただきます。手続を進めさせていただきます。

それでは、今後の流れについて、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

この後、ごみゼロプランを会長から市長へ答申し、市の手続きを経まして、ごみゼロプランが製本化されます。製本したのものについては、後日、皆様へ郵送をいたします。

また、前回の審議会で、弁当などの容器についているラベルについて、これが剥がれにくく困っているというお話がありましたので、簡単にご説明させていただきます。まず、弁当などの容器等についているラベルは、これを剥がさずに、容器包装プラスチックとして排出できることはご存じであるかと思いますが、ただし、できる限り異物を取り除いた上で、資源物として排出したいとお気持ちから、前回のお話が出たものと理解しております。ラベルについてですが、食品関連事業者は、基準に従って、食品の表示をする義務がありますので、これを表示しているラベルが簡単に剥がれないように、強い粘着剤を使用しているため剥がれにくくなっているとの事でしたので、ご報告とさせていただきます。

最後に、審議会は今回で今年度最後となりますが、1年間に渡りまして、貴重なご意見をご頂戴し、ありがとうございました。事務局からは以上となります。

【会長】

ありがとうございました。5年間ですが、こちらの計画案の24ページ、25ページに目標が掲げられております。ぜひこの計画どおり、実現に向けて頑張ってくださいと心から願っております。それでは、本日は、これで終了にさせていただきます。どうもありがとうございました。

閉会